

かとうせきかいらんぼん 可動堰回覧板

平成20年8月1日号 (No.37)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

五千石遺跡発掘調査の進捗状況や修理用ゲート格納庫の完成などについてお知らせします。

五千石遺跡発掘調査の進捗状況について

五千石遺跡発掘調査は平成18年度より開始し、現地調査は今年度が最終年度となっています。今年の調査が始まって約2ヶ月がたちましたが、古墳時代(約1,500年前)の甕(かめ)や壺など、日常生活で使う土器がぞくぞく見つかっています。当時の住まいである竪穴住居跡も5棟確認されています。一体どんな人達がここで生活していたのでしょうか。発掘調査は秋まで続きますが、今後の調査でも興味深い発見があるかもしれません。



毎日約90人の作業員の方が発掘に参加しています。



一列に並んで土器が出る層を掘っていきます。根気のいる仕事です。



土の中から現れた土器を傷つけないよう少しずつ丁寧に掘ります。



直径約60cmの穴から土器がたくさん出ました。1,500年前のゴミ捨て穴でしょうか？



長さ4cmの管玉(くだたま)。首飾りにしたのでしょうか？



白線に囲まれた部分が竪穴住居跡です。ここにどんな家族が住んでいたのでしょうか？

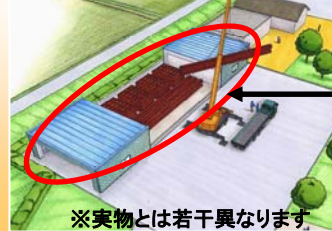
修理用ゲート格納庫が完成しました

可動堰のゲートは水量を調節するための大変重要な施設であり、ゲートの開閉操作が不能となることがないように適切な維持管理が必要です。そのため、ゲートの詳細な点検や部品交換を行う際にも水量調節機能が確保できるように、修理用ゲートを設置することとしています。昨年本川橋の右岸側上流において、修理用ゲートを保管するための格納庫の工事を行っていましたが、6月末で完成しました。新しい可動堰の修理用ゲートは1門の幅が約40m、高さが約7mであり、これを格納する格納庫は鉄筋コンクリート造り(屋根部は鉄骨造り)で幅約23m、長さ約17m、高さ約4mもあります。また大がかりなクレーン設備が不要のように、格納庫自体をレールの上で移動させることが可能な構造となっています。



完成した修理用ゲート格納庫

修理用ゲート搬出入時のイメージ



格納庫自体が移動します

※実物とは若干異なります

川にゴミを捨てるのはやめましょう

近年、家庭ゴミや粗大ゴミなどの河川内への不法投棄が大きな問題となっています。大河津分水路でも各所に不法投棄防止を呼びかける看板を掲示するなどしていますが、不法投棄が後を絶たないのが現状です。洗堰や可動堰にたまったゴミは産業廃棄物として処理されますが、処理のための費用もかかります。また大河津分水路へ流れ出たゴミは最終的に海に出てしまいます。

河川区域内にゴミを捨てると河川法により罰せられます。ゴミは一人ひとりの心がけ次第で減らせるものですし、環境悪化の防止にもつながります。

これからの季節は川や海に出かける機会も多くなると思いますが、美しい川や海を守るためにも、皆さんのご協力をお願いします。



渡部橋付近に不法投棄されたゴミ



不法投棄防止を呼びかける看板



洗堰にたまった大量のゴミの撤去状況

『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。

0258-32-3134 (平日 AM9:00~PM4:00)

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121(建設監督官在所)

大河津出張所

:大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等

建設監督官(可動堰改築担当):大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

大河津可動堰情報館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>

信濃川大河津資料館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>